

湖北広域行政事務センター

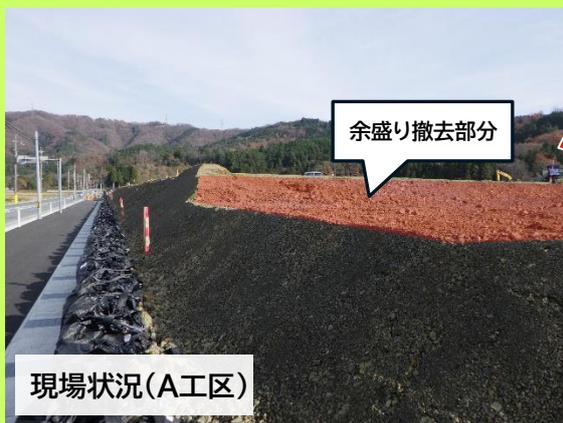
新一般廃棄物処理施設整備運営事業

造成工事（地盤改良工）について

■工事進捗状況(令和5年12月)

A工区では、地盤改良工事が完了し、現在は盛土の撤去を行っています。

B・C工区では、盛土及び地盤改良工事にて圧密沈下を進めています。



Q. せっかく盛土をしたのに、どうして撤去するのですか？

A. 今回の盛土の目的は、「圧密沈下を促進させること」だからです。そのため、沈下が終われば、余盛り部分の盛土は撤去する必要があります。



解説

敷地造成の計画高は、北側歩道高より2.3m盛土した高さ(計画高)となります。現在、当該事業用地は軟弱地盤であることから、計画高以上の余盛りを行うとともに、地盤改良工(Vol44 参照)を併用し、地盤の沈下促進を図り不同沈下を低減させています。これは、漬物をつくる際、オモシをのせ、荷重をかけることで水分を抜くことと同様の原理で、余盛分がオモシで地盤改良工がストローの役目となり、早期に沈下促進を図り造成完了後の有害な残留沈下や不同沈下を低減します。沈下がおさまれば余盛り分は撤去し、安定した地盤に施設を建設することとしています。

盛土により、荷重をかけ水分を排水層に排出し、地盤を固めます

